

皮心伝心

のろまなカメ，働き方改革に思う

“働き方改革”が医療界に与えるインパクトは甚大です。社会のために医療・医学教育・研究を支えている医師にも、「もっと休んで，もっと効率よく働きなさい」といっています。

留学中に，アメリカ人が17時になるとサッと帰り家族との時間をもつことに驚きました。しかし注意深く観察していると，成功する人はやっぱりハードワーカーで，仕事も集中，遊びも集中して無駄のないメリハリのある生活を送っています。今後ますます短距離走の時代になり，ウサギタイプの人々が活躍することになるでしょう。のろまなカメタイプの人々は休まず歩き続けないとレースに勝てないのだけでも，働き方改革後にはカメが長時間労働することがルール違反になってしまうのでしょうか？ 志の高いカメは，ゴールを諦めないといけないのでしょうか！？

解決策があります。

大好きなことを自分の仕事にすればよいのです。

余暇の時間は自分のもの，自発的に自己研鑽や仕事に使っても誰も咎めません。他者からの強制ではなく，自分で楽しみながら仕事をすればよいのです。そのためには1日も早く，自ら楽しめるサブスペシャリティを見つけることが大切でしょう。そして早く家に帰って，好きな皮膚科学を極めるために，大切な自分の時間を使うのです。だから，働き方改革後も，きっと私は変わらず働き続けます。私の友人もきっとそうだと思います。誰だって達成したい目標はあるのだし，それができる時間にはかぎりがある。できるのは，今しかないからです。幸運とは，情熱を傾けるものとの出会い，そして情熱が体の中にあることなのだとつくづく思います。

私たち昭和の時代を生きたものが，今，すべきことは，次世代にバトンを渡すことです。次世代が，生涯をかけて取り組む命題に臨床皮膚科学の中で出会えるように，一緒に臨床皮膚科学を極めることだと思います。まだ人生に多くの時間を残している皆さんがすべきことは，この国の未来を自分の責任と捉え，独りよがりな，その場かぎりの判断をしない賢さをもつことだと思います。

青山 裕美

(川崎医科大学皮膚科教授)